

1月11日 | 大人への第一歩を踏み出す

新成人の門出を祝い、ローズアリーナで成人式が開かれました。会場は、色とりどりの振り袖や袴などで着飾った800人を超える新成人で埋め尽くされました。

式では、村田伽奈さんと松浦圭佑さんが大人の自覚と決意に満ちた「新成人の言葉」を発表。続くアトラクションでは、稲崎晴也さん（初倉中2年）が情熱的な三味線演奏で花を添えてくれました。



1月10日 | 地域ぐるみで安全・安心

恒例の「交通安全・防犯パレード、凧揚げ大会」が金谷地区で開催され、市民や団体約500人が参加しました。

パレードは、交通事故の根絶と防犯のまちづくりを啓発する横断幕や大凧を手に、巖室神社から大井川河川敷までの約2kmを行進。ゴールすると、交通安全宣言の唱和などに続き、子どもたちがオリジナルの啓発凧を大空に揚げ、地域の安全・安心を願いました。

1月13日 | 交流で学んだ外国文化

中米ホンジュラスで働く有本稔さん（島田市出身）と、コスタリカ在住の長女恵美さん・長男篤さんが、島田第五小学校を訪れ、児童たちと親睦を深めました。

この交流は、児童たちに外国で働くことの楽しさや文化の違いについて学んでもらうことを目的に実施。中米でも多くの日本食が親しまれていることを聞いた児童たちは、驚くとともに、世界を身近に感じていました。





1月16日 | お手付きなんて恐くない

川根中学校体育館で、全校生徒による新春恒例「百人一首大会」が繰り広げられました。

グループに分かれた生徒たちは、下の句が書かれた札を囲んで準備万端。上の句が読まれると、みんな真剣な表情で続きの札を探し出し、素早く手を伸ばしていました。生徒たちは「昔からの行事をみんなで楽しめた」と、日本の伝統文化を、肌で感じていました。

1月25日 | 「飛翔」の年を願って

おび通りで開かれた「しまだ元気市」で、島田高校書道部の皆さんが、力強い書道パフォーマンスを披露しました。

1カ月かけて練習した部員12人は、軽快な音楽に合わせて、大きな筆を走らせ「飛翔」の文字と未来への「希望の詩」をしたためました。部長の山本さんは「^{ひつじ}末年にちなんで、羊が羽ばたく字を選びました」と爽やかな笑顔で語ってくれました。



1月7日 | 厄よけ祈願の鬼退治

千葉山智満寺で、恒例の「鬼払い」が行われました。正月を締めくくるこの儀式では、暗闇から登場して堂内を暴れ回る、赤・青・白の3体の鬼を読経によって退治し、1年の無病息災を願います。

鬼たちが力尽きて投げ捨てる松明^{たいまつ}の燃えさしは、持ち帰ると「魔除け」になると信じられています。訪れた多くの参拝客は、われ先にと拾い上げていました。